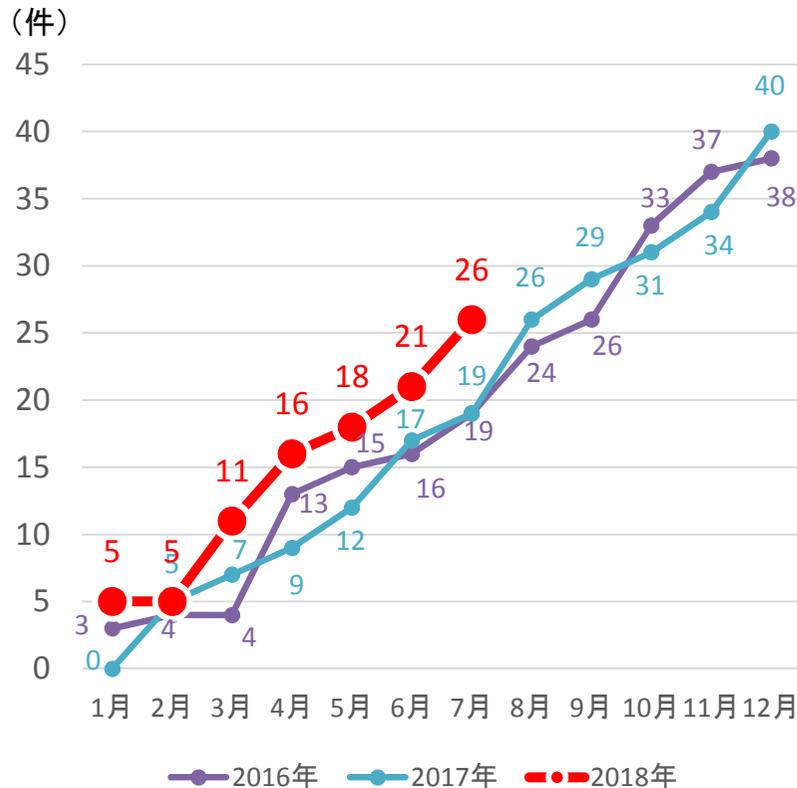


当社管内における交通死亡事故の発生状況

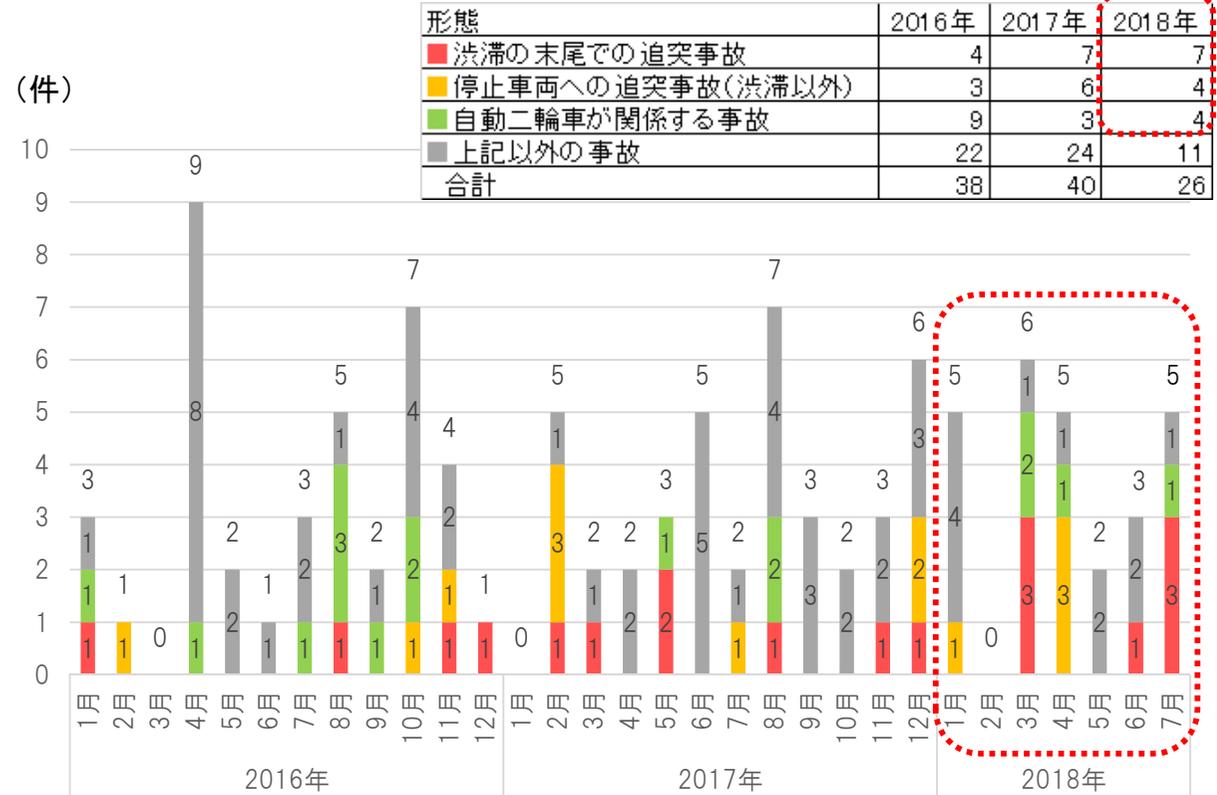
当社が管理する高速道路では、2018年に入って26件の交通死亡事故が発生（※当社調べ）し、依然として過去3年間で最悪のペースとなっています【図1】。

今年の交通死亡事故の特徴としては、渋滞の末尾での追突事故が7件、渋滞以外の要因で高速道路上に停止していた車両への追突事故が4件発生しているほか、自動二輪車が関係する事故が4件発生しています（※当社調べ）【図2】。

中でも、渋滞の末尾での追突事故は、6月以降で4件発生（※当社調べ）しており、夏休みに入り、交通量が増加する7月から8月にかけて特に注意が必要です【図2】。



【図1】交通死亡事故発生件数の累計推移



【図2】交通死亡事故の月別・形態別発生状況

（図1、図2いずれも2018年は7月23日までの速報値 ※当社調べ）

高速道路を安全にご利用いただくためのお願い

◆ 渋滞に遭遇したら

渋滞の中や後方では、**追突事故が発生しやすい状況**になります。渋滞に遭遇した場合は、次の点に注意して走行してください。

① 後続車両への合図を！

後続車両の運転者が前方の渋滞に気づいているとは限りません。

ハザードランプの点灯や、**ポンピングブレーキ**などで後続車両へ合図してください。



② 急ブレーキ・急な車線変更は厳禁！

渋滞末尾での**急ブレーキ**は、**後続車両に追突されるおそれがあり大変危険**です。

前後の車両との距離に注意し、**緩やかに減速**してください。

急な車線変更も追突・衝突事故の原因となりますのでやめてください。

また、渋滞により停止する場合も、前の車と十分な車間距離を取りましょう。

③ 路肩走行は厳禁！

緊急時の救急活動の妨げとなりますので、**路肩の走行はやめてください**。

★ 事前の情報確認を！

走行中に道路情報板などで渋滞情報を見かけた際は、前方に注意してください。

出発前や休憩時の渋滞情報収集には、WEBサービスの **iHighway (アイハイウェイ) 中日本** もご利用ください。

